



生成AI仕組みを学ぼう

文科省特別委員会委員長・堀田龍也教授(東北大学大学院)に聞く

リスク回避の力身に付く

ますます注目を集めそうな生成AI(人工知能)だけど、人々はこれからどう向き合えばいいのだろうか。1面で紹介した文科省の特別委員会委員長を務める東北大学大学院情報科学研究科の堀田龍也教授に聞いたよ。

(1面に関連記事)

生成AIの回答には間違いがあるので、むやみやたらに使うことについては、警鐘を鳴らす必要があります。だからといって生成AIを使わないとなると、包丁で事件を起こす人がいるから、家庭でも利用禁止にするみたいな話になってしまいます。

自然言語処理とAIの技術が進み、まだ遠い先の話だろうと思っていた社会が現実になったことで人々が驚き、どうしようとなっているのが今の状況です。インターネットの検索や携帯電話、古くはテレビ、車など、新技術が登場した時も似たような反応が出ました。しかし、今ではそれらの新技術を前提にした社会になっ



ほりた・たつや 1964年熊本県生まれ。東京学芸大卒。東京工科大学大学院博士(はくし)後期課程(かてい)修了(しゅうりょう)。東京都の公立小教諭(きょうゆ)などを経(へ)て、2014年から現職(げんしょく)。

ています。生成AIも、いずれ多くの人が日常的に使うようになるはず。当面はルール化ということになると思いますが、大事なものは大まかでいいので、生成AIがどんな仕組みで動いているのか教えることです。

回答の根拠は、全てインターネット上の情報です。ネットの情報には間違いもありますし、思い込みや一方からの偏った意見もあります。また対面での会話など、ネットにない情報は知識になりません。ネット上の情報を学習するため、質問に個人情報や未公開の情報を入力すると、その情報がほかの人の回答に使わ

れる恐れがあります。チャットGPTの場合、2021年9月までの情報に基づいてきます。最近のことを聞いても、中途半端な知識で答えが返ってきます。

こういった仕組みを理解していると、間違える理由が分かりますし、おのずとやっつけられないことやリスクも分かるようになります。仕組みを知らないで、何だか怖いみたいなイメージを持つかもしれない。やみくもに遠ざけることで隠れて使ったり、誤った知識で使ったりするかもしれない。私は学校で学び、適切に活用できるようにすべきだと考えています。

子どもたちの学力向上に!

河北新報の 出前授業

活用しませんか

教育に新聞を活用するNIE活動に取り組む学校が、年々増えています。新聞は子どもたちの学力向上、読解力アップにつながります。河北新報社は、新聞活用を後押しするため、社員による出前授業を行っています。



お問い合わせ先:河北新報社 防災・教育室

TEL:022-211-1309 FAX:022-211-1339 E-mail:kyopro@po.kahoku.co.jp

出前授業 主なメニュー

新聞の読み方 (小学校高学年以上) **楽しく実践**
新聞を5分で読む方法、インターネットとの違いなどを説明。新聞を読み比べ、多様な考えがあることも学べます。

文章の書き方 (中学生以上) **楽しく実践**
新聞記事は分かりやすい文章のお手本。記事の書き方の基本を学ぶことは、伝わりやすいレポートやビジネス文書作成に役立ちます。

まわしよみ新聞 (全世代向け) **楽しく実践**
気になった記事を切り抜いて紙に貼り、選んだ理由を発表します。多様な視点や考えがあることを学べます。

報道写真の役割 (全世代向け) **震災学ぼう**
写真専門記者が震災現場などの写真を素材に、報道写真の役割を説明。効果的な写真の撮り方も学べます。

新聞の作り方 (小学校高学年以上) **楽しく実践**
修学旅行新聞や学級新聞の作り方を説明。取材方法、記事の書き方、効果的なレイアウトを紹介しします。

防災ノウハウ (全世代向け) **震災学ぼう**
地域巡回防災ワークショップ「むすび塾」担当記者が、地域の防災力を高めるノウハウを紹介しします。

※上記は出前授業の一例です。内容はご相談ください。

河北新報 出前授業

検索

出前授業メニュー一覧はwebでご覧いただけます

